

## 6.7 陸生植物

### 6.7.1 調査

#### (1) 調査項目

調査項目は以下のとおりとした。

- ・重要な種の分布及び生育の状況
- ・重要な群落の分布の状況

#### (2) 調査手法

上記の項目について、「3.1.6 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (2)陸生植物の生育、植生の状況」に記載した既存資料等の収集・整理の結果をもとに、各種の生態的特性及び調査地域の現況等を総合的に勘案して生育状況（生育可能性）の把握を行った。

なお、準対象事業実施区域の植生の状況として、谷部は古くはミカン園や水田耕作地として利用されていたが、近年ではミカン園は存続しているものの、水田耕作地は湿地状の休耕田となっている。丘陵地は大部分がスギ・ヒノキ植林と竹林で占められ、尾根の一部にコナラ等の落葉広葉樹林がみられる。準対象事業実施区域の南側は、開発後に放置された裸地と草地となっている。

また、生育の可能性があると考えられる種の実際の生育状況を把握するため、表 6.7.1-1 に示すとおり現地調査を実施した。

表 6.7.1-1 現地調査の内容

調査項目		調査手法	調査時期
陸生植物	維管束植物	準対象事業実施区域及びその周辺を任意に踏査し、直接観察及び標本採取後の同定により植物相を把握するとともに、重要な種については、確認地点、生育状況、個体数等を記録した。	夏季：令和元年7月30日、31日 秋季：令和元年11月7日、8日 春季：令和2年4月15日
	蘚苔類	準対象事業実施区域及びその周辺を任意に踏査し、直接観察及び標本採取後の同定により蘚苔類相を把握するとともに、重要な種については、確認地点、生育状況、個体数等を記録した。	夏季：令和元年7月30日、31日

#### (3) 調査地域

文献調査の範囲は、2次メッシュ単位での分布・生息情報が得られる文献の準対象事業実施区域及びその周辺が含まれるメッシュ区分「523655」を対象とした。

現地調査地域は、図 3.1.6-1 に示す準対象事業実施区域及びその周辺とした。

#### (4) 調査結果

##### ① 重要な種の分布及び生育の状況

準対象事業実施想定区域及びその周辺における重要な種の分布及び生育の状況として、「3.1.6 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (2) 陸生植物の生育、植生の状況」に記載した既存資料等の収集・整理の結果をもとに、各種の生態的特性及び調査地域の現況等を総合的に考慮して生育状況（生育可能性）の把握を行った結果、表 6.7.1-2～3 に示すとおり、生育の可能性のある種が抽出された。

重要な維管束植物では、情報が得られた 278 種のうちミズニラ、アギナシ、オオトリゲモ等の 80 種が準対象事業実施区域及びその周辺で「生育の可能性はある」と判断された。

重要な蘚苔類では、情報が得られた 11 種のうちオオミズゴケ、カビゴケ、ウキゴケ、イチョウウキゴケの 4 種が準対象事業実施区域及びその周辺で「生育の可能性はある」と判断された。

表 6.7.1-2(1) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
イヌヤチスギラン	三重県では生育情報がない。生育地は滋賀県の1ヵ所のみである。湿地に生育する常緑性の小型草本である。(B)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヤチスギラン	三重県では、伊賀市の湿地に集中して分布する。桑名市、津市での記録もあるが両市では、絶滅した可能性が高い。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒモヅル	三重県では、名張市、紀州地域で記録がある。山地の疎林中に生育するつる性の常緑シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ナンカクラン	三重県では、度会町、南伊勢町、紀北町、尾鷲市、熊野市、紀宝町で記録がある。樹幹または岩上に着生、下垂または斜上する常緑のシダである。(A)	△	△	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の栽培逸出個体の生育場所となり得る環境が存在する。
イヌカタヒバ	林下の岩上に生じる常緑性シダである。温室からの逸出はみられるが、自生のものは産地が局限される。(B)	△	△	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の栽培逸出個体の生育場所となり得る環境が存在する。
ミズニラ	三重県では、明和町、伊勢市、南伊勢町、大台町、大紀町、紀北町、尾鷲市で記録がある。溜池の浅瀬、放棄水田に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺は、本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
コハナヤスリ	三重県では、北勢と紀勢で稀にみられ、里山の草地に生育する。(C)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となる環境が存在する。
マツバラシ	三重県では、全域に点々と記録がある。山地に生育し、暖地では樹幹に着生するが、ときには岩やコンクリートの隙間にも生育する。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
コケシノブ	三重県では、桑名市、いなべ市、菰野町、亀山市、伊賀市、名張市、津市、松阪市、大台町、南伊勢町、熊野市で記録がある。湿り気の多い山地林下の岩上や樹幹にも着生する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺は、本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
デンジソウ	三重県では、桑名市、四日市市、菰野町、伊賀市、津市、伊勢市、志摩市で記録がある。水湿地に根茎を引いて生育する水生のシダである。(A)	×	○	準対象事業実施区域周辺には本種の生育場所となり得る水域等が存在する。
アカウキクサ	三重県では、いなべ市、桑名市、亀山市、津市、伊賀市、伊勢市、鳥羽市、志摩市で記録がある。小型で浮遊性の常緑性シダ植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺は、本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(2) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
サンショウモ	三重県では、津市、多気町、伊勢市、紀北町、伊賀市、名張市で記録がある。池沼、水田、水路等に分布する一年生の浮遊植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺は、本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
クサマルハチ	三重県では、紀州で記録がある。山林に生育する常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヘゴ	三重県では、紀州地域に記録があり、紀宝町、尾鷲市で記録がある。木生の亜熱帯性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ハマホラシノブ	三重県では、紀州で記録がある。向陽の岩礁や急崖地の地際に生育する常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒメムカゴシダ	三重県では、尾鷲市で唯一記録がある。中軸に無性芽をつける常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒメミズワラビ	三重県では、北勢と中勢で稀にみられ、紀勢では少ない。水域や富栄養湿地、水田等に生育する。(C)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水田等が存在する。
ハチジョウシダ	三重県では、南伊勢町、尾鷲市、熊野市で記録がある。樹陰に生じ、陰湿な場所にはみられない常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
オオカグマ	三重県では、名張市 1 地点で記録がある。平地から低山のやや乾燥した林下に生育する常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ミヤコイヌワラビ	三重県では、桑名市、いなべ市、菰野町、大台町、南伊勢町、尾鷲市、熊野市、紀宝町で記録がある。多湿の林下・林縁に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
オトコシダ	三重県では、大台町、紀北町、尾鷲市、熊野市、紀宝町で記録がある。山地の林下に生育する中型の常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ツクシイワヘゴ	三重県では、いなべ市、大安町、亀山市、大台町、熊野市、紀宝町で記録がある。常緑性シダである。(A) 植林を含む二次林に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(3) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
オシダ	三重県では、いなべ市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、亀山町、伊賀市、津市、松阪市、大台町、伊勢市で記録されている。温帯林の林床に群生する夏緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
アツギノヌカイタチシダマガイ	三重県では、桑名市、大台町、紀北町、御浜町、紀宝町で記録がある。やや乾燥した低山地に生育する常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒロハアツイタ	三重県では、大台町等で記録がある。山地の林下に生育する常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
アツイタ	三重県では、度会町、大紀町、大台町、紀北町、尾鷲市、熊野市、紀宝町で記録がある。山地のやや陰湿な岩上か樹幹に着く常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
キクシノブ	三重県では、伊勢市、南伊勢町、紀北町、尾鷲市、紀宝町に記録がある。高湿度地の樹幹や岩上に着生する常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
アオネカズラ	三重県では松阪市、大紀町、大台町、名張市、紀北町、尾鷲市、熊野市、紀宝町で記録がある。山地の岩上や樹幹に着生するシダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
イワオモダカ	三重県では、いなべ市、名張市、松阪市で記録がある。岩場や樹幹上に生育する常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
キレハオオクボシダ	三重県では、大台町宮川の1地点のみで記録がある。森林内の樹上や岩上にコケと混生する小型の常緑性シダである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ハリモミ	三重県では、台高山脈(津市美杉町、大台町ほか)とその周辺の山地帯等で記録がある。日本固有種で高木性の常緑針葉樹である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
イブキ	三重県では、大台町、伊勢市、大紀町で記録がある。常緑の高木性針葉樹である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
オニバス	三重県では、桑名市、津市、志摩市で記録がある。富栄養な水環境に浮葉をつけて生育する一年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(4) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
スエヒロアオイ	三重県では、亀山市、鈴鹿市で記録がある。(A) 三重県以外での生育情報はない。常緑の多年草である。(B)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ジュロウカンアオイ	三重県では、尾鷲市の1地点で記録がある。尾鷲市が唯一の生育地で、山の斜面に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
シデコブシ	三重県では北勢地域(いなべ市、菰野町、四日市市)で記録がある。丘陵地の侵食の及んでいない小谷の底部に生育する落葉性の亜高木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
マイヅルテンナンショウ	三重県では、分布は非公表である。草原や川辺林に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ユキモチソウ	三重県では、伊賀市、津市、松阪市で記録がある。山地の林床に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ナンゴクウラシマソウ	三重県では、紀勢で記録がある。(A) 二次林や植林に稀に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒメザゼンソウ	三重県では、滋賀県と岐阜県に隣接する1地点(溪流辺から斜面下部にかけて)のみで記録がある。林縁や道端の湿地に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
イワショウブ	三重県では、菰野町の高標高地、いなべ市と伊賀市では湧水に涵養された丘陵地で記録がある。亜高山帯の湿原に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
アギナン	三重県では、木曾岬町、伊賀市、名張市、伊勢市、南伊勢町、紀北町で記録がある。水田や浅い池に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在しない。
スブタ	三重県では、伊賀市、名張市、松阪市、明和町、南伊勢町、尾鷲市、御浜町、紀宝町で記録がある。湿田や浅い池に生育する一年生の沈水植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水域が存在しない。
トチカガミ	三重県では、桑名市、伊賀市、紀北町で記録がある。池や溝に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水域が存在しない。
イバラモ	三重県では、松阪市、多気町、玉城町、大紀町、伊賀市で記録がある。湖沼、溜池、まれに流れのゆるやかな河川や水路等に生育する一年生の沈水植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水域が存在しない。

表 6.7.1-2(5) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
オオトリゲモ	三重県では、桑名市、松阪市、多気町、玉城町で記録がある。湖沼、溜池、稀に水路等に生育する一年生の沈水植物である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水域が存在する。
コウガイモ	三重県では、北勢で記録がある。(A) 水域に稀に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水域が存在しない。
ササバモ	三重県では、桑名市、津市、松阪市、南伊勢町で記録がある。ため池や河川に群生する沈水性から浮葉性の多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水域が存在しない。
カワツルモ	三重県では、桑名市、四日市市、松阪市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、大紀町、紀北町で記録がある。海水の流入する汽水中に群生する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ウエマツソウ	三重県では、伊勢市と大紀町で記録がある。朽ち木や落葉の間に生育する多年生の腐生植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒメナベワリ	三重県では、尾鷲市で文献記録がある。(A) 二次林や植林に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
キイヒメシライトソウ	三重県では、大台町大杉谷で文献記録と標本記録がある。(A) 山地の林中に生育する多年草である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
チャボシライトソウ	三重県では、伊勢市、大台町、紀北町、尾鷲市、熊野市で記録がある。やや乾燥した環境に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ミカワバイケイソウ	三重県では、北勢で記録がある。日本固有種で、低地から丘陵地の湿原に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ササユリ	三重県では、全域の丘陵地から山地に生育している。草地やスキ草原、林縁等に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
キイジョウロウホトトギス	三重県では、紀州地域で記録がある。奥山の岸壁に垂れ下がって生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒナラン	三重県では、北勢、伊賀、中勢、南勢地域で記録がある。湿った岩上に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
イワチドリ	三重県では、南勢、紀州等で記録がある。溪流の岸壁に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(6) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
シラン	三重県では、北勢から南勢まで広く分布する。川沿い等の日当たりのよい湿り気のある岩場に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ミヤマムギラン	三重県では、南勢および紀州で記録がある。安定した森林内の樹幹や岩上に群生する常緑の着生ランである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
キリシマエビネ	三重県では、紀州地域で記録がある。常緑広葉樹林に生育する地生ランである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
エビネ	三重県では、全域に低地から山地まで広く分布している。雑木林の下等に生育する。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
ナツエビネ	三重県では、北勢、中勢、伊賀、南勢、紀州地域で記録がある。比較的明るく、やや湿った林内に散見される。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
ギンラン	三重県では、北勢、南勢、伊賀、紀州地域で記録がある。山や丘陵地の疎林下に生育する。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
キンラン	三重県では、北勢から南勢及び伊賀地域で記録がある。山や丘陵地の疎林下に生育する。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
クゲヌマラン	三重県では、南伊勢町で生育が確認されているが、現況不明である。(A) 地生ランで、造成地等で新たに発生する例が報告されている。(B)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
マヤラン	三重県では、北勢、伊賀地域で記録がある。山地林内に生育する無葉の腐生植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在しない。
ナギラン	三重県では、南勢、紀州で記録がある。常緑広葉樹林下の林床に生育する常緑のランである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
クマガイソウ	三重県では、各地で記録がある。稀に群落が確認され、被圧が進むと衰退する。樹林下に群生する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林が存在しない。
イチヨウラン	三重県では、中勢、北勢で記録がある。深山に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
セッコク	三重県では、伊賀市、伊勢市、大紀町、尾鷲市、熊野市で記録がある。(A) 暖温帯の樹上や岩上に着生する常緑の多年草である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。



表 6.7.1-2(7) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
サワラン	三重県では、分布情報がない。貧栄養湿地に生育する。(C) 亜寒帯～冷温帯の湿地でミズゴケとともに生育する。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
カキラン	三重県では、いなべ市、菰野町、四日市市、亀山市、伊賀市、名張市、津市美杉町、松阪市、多気町、大紀町、南伊勢町、熊野市で記録がある。日当たりの良い湿地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
カシノキラン	三重県では、紀州地域で記録がある。生育地の神社林は天然記念物に指定されている。常緑広葉樹林内の樹幹に着生する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
モミラン	三重県では、津市で記録がある。樹林に着生する常緑の多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
アキザキヤツシロラン	三重県では、伊賀地域で記録がある。常緑樹林下、しばしば竹林下にも生育する地生の無葉緑腐生植物である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林が存在する。
オニノヤガラ	三重県では、北勢、伊賀、南勢、紀州で記録がある。山地の樹林下に生育する地生の無葉緑腐生植物である。ナラタケと共生する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林が存在しない。
ハルザキヤツシロラン	三重県では、紀州地域で記録がある。常緑広葉樹林下に生育する地生の無葉緑腐生植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林が存在しない。
クロヤツシロラン	三重県では、いなべ市、桑名市、亀山市、伊賀市で記録がある。竹林や杉林、常緑広葉樹林下のやや湿った腐植土壌に生育する腐生ランである。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
ベニシュスラン	三重県では、伊賀、南勢、紀州地域で記録がある。やや湿った樹林下に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ツユクサシュスラン	三重県では、熊野市、紀和町で標本がある。(A) 常緑広葉樹林下でみられる。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ミズトンボ	三重県では、いなべ市、菰野町、伊賀市、名張市で記録がある。日当たりの良い湿地に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒナチドリ	三重県では、南勢地域で記録がある。深山のコケの生えた樹上、ブナやミズナラ等の壮齢樹上の高所に着生する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(8) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
ヤクシマアカシユスラン	三重県では、紀宝町の神社社叢林で記録がある。分布の限界にあたる。常緑樹林内に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ハクウンラン	三重県では、南勢や紀州の数か所で記録がある。紀州では、ヒノキ林下のコケ類が茂る湿った岩上でみられる。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ウスギムヨウラン	三重県では、南勢および紀州地域で記録がある。常緑広葉樹林下に生育する腐生の多年生草本である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
ギボウシラン	三重県では、名張市と津市で記録がある。樹林の林床に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
フガクスズムシソウ	三重県では、南勢地域で記録がある。深山のブナの樹上にコケ類と混生して着生する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ボウラン	三重県では、紀州地域で記録がある。クロマツやカキノキ等の樹幹、神社の樹木に着生する常緑のランである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
フウラン	三重県では、伊賀、中勢、南勢、紀州地域で記録がある。暖地の樹幹や岩石上に着生する(A)	△	△	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の栽培逸出個体の生育場所となり得る環境が存在する。
ヒメフタバラン	三重県では、紀州地域の2か所で記録がある。山地の樹林に生育する。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
アオフタバラン	三重県では、津市、伊勢市で記録があるが、現況は不明である。山地樹林下に生育する。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
サギソウ	三重県では、北勢、中勢、伊賀で記録がある。日当たりのよい湿地に生育する小形の多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ガンゼキラン	三重県では、紀州地域で記録がある。常緑樹林下に生育する地生ランである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ツレサギソウ	三重県では、伊賀、南勢、紀州地域で記録がある。山地の日当たりの良い湿った草地に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヤマサギソウ	三重県では、北勢、中勢、伊勢、南勢、紀州地域で記録がある。低山地や丘陵地の草地に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(9) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
トンボソウ	三重県では、桑名市、菰野町、伊賀市、名張市、津市、松阪市、多気町、大台町、鳥羽市、大紀町、尾鷲市、熊野市、御浜町で記録がある。山地林下の涼しい所を好んで生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
トキソウ	三重県では、北勢、中勢、伊賀、志摩地域で記録がある。日当たりの良い湿地に生育する小形の多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヤマトキソウ	三重県では、亀山市、鈴鹿市、伊賀市、名張市、津市、伊勢市で記録がある。丘陵や山間の湧水湿地に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ウチョウラン	三重県では菰野町、四日市市、亀山市、伊賀市、名張市、大台町、紀北町、熊野市で記録がある。山地の湿った岩壁等に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
クモラン	三重県では、伊賀市、津市、松阪市、南伊勢町、尾鷲市、紀宝町で記録がある。ウメの木等の樹幹に着生する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
ヒトツボクロ	三重県では、亀山市、菰野町、津市、松阪市、紀北町で記録がある。森林の林床に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林が存在しない。
ショウキラン	三重県では、北勢、中勢地域で記録がある。地上に生育し、葉緑素を持たない腐生植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ノハナショウブ	三重県では、北勢、中勢、南勢、伊賀地域で記録がある。日当たりのよい湿地や草原に群生する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ユウスゲ	三重県では、四日市市、鈴鹿市、伊勢市で記録がある。山地の草原や池の岸辺に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ノカンゾウ	三重県では、桑名市、いなべ市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、津市、伊賀市、名張市、松阪市、明和町、伊勢市、鳥羽市等で記録がある。溝の縁、池畔、棚田の縁等の地下水水位の高いところに生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ニラ	三重県では、北勢に稀の記録がある。海岸等に生育する。(C)	△	△	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の栽培逸出個体の生育場所となり得る環境が存在する。

表 6.7.1-2(10) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
ミズギボウシ	三重県では、いなべ市、四日市市、菰野町、伊賀市、名張市、津市、松阪市、多気町、熊野市で記録がある。溝の縁や山際の湿地等で雑草に混じって生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
ミズアオイ	三重県では、桑名市、志摩市で記録がある。毎年出現するとは限らず、水田や浅い沼地に生育する一年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在しない。
ナガエミクリ	三重県では、いなべ市、四日市市、菰野町、亀山市、伊賀市、名張市、津市、松阪市、多気町、伊勢市、南伊勢町、大紀町、紀北町、紀宝町で記録がある。湖沼や水路等に生育する多年草の抽水植物である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
コガマ	三重県では、いなべ市、桑名市、四日市市、鈴鹿市、伊賀市、津市、松阪市、鳥羽市で記録がある。休耕田、池畔、川岸等に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ホシクサ	三重県では、北勢と中勢に稀で紀勢では少なく、伊賀では分布の情報はあるが、標本の裏付けがない。富栄養湿地、水田に生育する。(C)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水田等が存在する。
クロホシクサ	三重県では、桑名市、いなべ市、四日市市、鈴鹿市、伊賀市、松阪市、鳥羽市、南伊勢町、尾鷲市、熊野市、紀宝町で記録がある。湿地、溜池の周辺、水田等に点在している一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水田等が存在する。
コウキヤガラ	三重県では、分布する情報がない。富栄養湿地や塩性湿地に生育する。(C)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
トダスゲ	三重県では、紀州の湿地1ヶ所で記録がある。湿地に生育するやや大型の多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ウマスゲ	三重県では、北勢、中勢、南勢、紀州地域で記録がある。低湿地に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヤガミスゲ	三重県では、北勢で稀にみられる。富栄養湿地や原野に生育する。(C)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ミコシガヤ	三重県では、熊野市で記録がある。河川敷の草地に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(11) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
マメスゲ	三重県では、いなべ市、菟野町、津市、伊賀市、名張市、伊勢市、熊野市、紀宝町で記録がある。丘陵地や山地の林内、特に湿地周辺に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
シオクグ	三重県では、北勢、中勢で稀にみられ、紀勢では少ない。塩性湿地に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ツクシナルコ	三重県では、紀州で記録がある。湿地に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
オオシロガヤツリ	三重県では、いなべ市、津市、松阪市、多気町等で記録がある。溜池のへりや放棄田等の湿地に生育する一年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
シロガヤツリ	三重県では、北勢、中勢、南勢および伊賀地域で記録がある。湿地や休耕田、池沼の岸边に生育する一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
カガシラ	三重県では、いなべ市大安町、名張市、伊賀市で記録がある。湿地にややまれに生育する一年草の草本である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
セイタカハリイ	三重県では、紀北町と熊野市で記録がある。湿地に生育するが、沿海地の低湿地（とくに海跡湖）を好む。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ナガボテンツキ	三重県では、桑名市、四日市市、南伊勢町、紀北町で記録がある。海岸近くに生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
アゼテンツキ	三重県では、いなべ市、四日市市、伊賀市、多気町で記録がある。山間の湿地や池の周りに生育する小型の一年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
トネテンツキ	三重県では、北勢、南勢地域で記録がある。溜池の湿地に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ネビキグサ	三重県では、北勢、南勢、紀州地域で記録がある。湿地に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ミカツキグサ	三重県では、いなべ市、鈴鹿市、伊賀市で記録がある。湧水に涵養された丘陵地の湿地に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
マツカサススキ	三重県では、いなべ市、四日市市、伊賀市、玉城町等で記録がある。湿地や溜池、河川敷の水溜まり等に生育する大型の多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(12) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
ミカワシソ	三重県では、いなべ市、伊賀市、松阪市、玉城町で記録がある。明るい湿性草地に生育する一年草または多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒメコヌカグサ	三重県では、北勢、中勢、伊賀で稀にみられ、紀勢では分布する情報はあるが、標本の裏付けがない。里山の草地に生育する。(C)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る草地等が存在する。
コウボウ	三重県では、北勢(亀山市)や伊賀地域で記録がある。日当たりの良い原野に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヌマカゼクサ	三重県では、いなべ市、鈴鹿市、松阪市、多気町で記録がある。本州西部の湿地に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
イトスズメガヤ	三重県では、熊野市、紀宝町で標本記録がある。(A) 海岸の砂浜に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
コゴメカゼクサ	三重県では桑名市長島町、伊賀市上野、熊野市で標本、鈴鹿市で文献記録がある。(A) 本州の暖地～琉球に分布する無毛の一年草である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ナルコビエ	三重県では、桑名市、四日市市、松阪市、伊賀市等で記録がある。丘陵地から平野部の草地に生育する(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る草地等が存在する。
ウンヌケモドキ	三重県では、桑名市、四日市市で記録がある。日当たりのよい原野に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
タイワンカモノハシ	三重県では、いなべ市、鈴鹿市、志摩市で記録がある。湿地や海岸砂浜に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
タチネズミガヤ	三重県では、桑名市、いなべ市、菟野町、名張市で記録がある。温帯林中にみられる多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
アイアシ	三重県では、伊勢湾岸及び熊野灘沿岸の海岸砂浜や河口で記録がある。多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
タキキビ	三重県では、分布する情報がない。二次林や植林等に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ムカゴツヅリ	三重県では、桑名市、津市、亀山市、大台町等で記録がある。多湿な山地にみられる多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(13) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
ウキシバ	三重県では、北勢、中勢、南勢および伊賀地域で記録がある。水上に広がって浮かぶ無毛の多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ワセオバナ	三重県では、木曾岬町、桑名市で記録がある。海岸や河川河口部の堤防等に生育する大形の多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
マツモ	三重県では、桑名市、津市、多気町、鳥羽市等で記録がある。湖沼、ため池、水路等に生育する沈水性の多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水域が存在する。
ヘビノボラズ	三重県では、いなべ市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、津市、多気町、伊賀市、名張市で記録がある。貧栄養の湿地とその周辺に生育する落葉小低木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
キケンショウマ	三重県では、いなべ市で記録がある。山地の半日陰に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
カザグルマ	三重県では、いなべ市、菰野町、伊勢市、南伊勢町で記録がある。山地や丘陵の林縁に生育する落葉性のつる植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
コウヤシロカネソウ	三重県では、熊野市紀和町、旧一志郡、大台町で記録がある。溪流沿いの落葉広葉樹林、奥山で確認される多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
セツブンソウ	三重県では、いなべ市、伊賀市で記録がある。林床が裸地に近いまたは草地の落葉樹林内に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
トリガタハンショウヅル	三重県では、いなべ市、菰野町、亀山市、伊賀市、名張市、津市、松阪市、伊勢市、大台町、紀北町、尾鷲市で記録がある。日当たりの良い林縁に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
バイカモ	三重県では、桑名市で文献記録がある。小川や湧水地等の冷水を好む沈水性の多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
シギンカラマツ	三重県では、藤原町、北勢町、多度町、一志町、松阪市飯高町、大台町、伊賀市で記録がある。山地に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
カラマツソウ	三重県では、分布する情報がない。山地の草地に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(14) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
ベニバナヤマシヤクヤク	三重県では、中勢で記録がある。温帯の落葉広葉樹林下や林縁、草地等に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ナメラダイモンジソウ	三重県では、亀山市、大台町で記録がある。谷沿いや林道沿いの湿った岩上に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
センダイソウ	三重県では、松阪市飯高町、大台町で記録がある。谷沿いの湿った岩上に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
タキミチャルメルソウ	三重県では、藤原岳、御池岳で記録がある。山地の溪流沿いの湿った場所に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
タコノアシ	三重県では、桑名市、津市、伊賀市、志摩市、紀北町で記録がある。浅い沼沢、河川敷等の水湿地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
ホザキノフサモ	三重県では、桑名市、四日市市、伊勢市で記録がある。河川、水路、湖沼、溜池等に生育する沈水性常緑多年草である。(A)	×	○	準対象事業実施区域周辺には本種の生育場所となり得る水域等が存在する。
タチモ	三重県では、いなべ市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、玉城町、尾鷲市、伊賀市、名張市で記録がある。多年生の沈水から湿性植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
フサモ	三重県では、桑名市、松阪市、玉城町、志摩市、南伊勢町、紀北町、伊賀市で記録がある。湖沼、溜池、水路等に生育する多年生の沈水植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
タヌキマメ	三重県では、全域で稀にみられる。海浜の砂浜や里山の草地に生育する。(C)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る草地等が存在する。
ニワフジ	三重県では、桑名市、松阪市、伊勢市、御浜町で記録がある。川岸の岸壁等に生育するが、栽培個体が逸出して人里の石垣等にもみられる (A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
マキエハギ	三重県では、桑名市、伊賀市、名張市、伊勢市等で記録がある。丘陵地の林縁や路傍に生育する草本性の小低木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る草地等が存在しない。
ソルフジバカマ	三重県では、桑名市、津市、伊勢市等で記録がある。山野の草原や道ばたに生育するつる性の多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。



表 6.7.1-2(15) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
ビワコエビラフジ	三重県では、鈴鹿山脈の北部(いなべ市)で記録がある。沢沿いの林縁や林内に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒナノカンザシ	三重県では、いなべ市、鈴鹿市、津市、伊賀市、名張市、明和町で記録がある。日当たりの良い溜池周辺や湿地に生育する一年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
アリマグミ	三重県では、桑名市多度と津市美里町で標本記録があり、美里町では数個体が生育している。(A) 丘陵～低山に生育する落葉小高木である。(D)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
コウヤグミ	三重県では、菰野町、伊勢市、大台町で記録がある。山地のやや明るい林下や林縁に生育する落葉低木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
トキホコリ	低地の湿ったところに生育する一年草である。(B)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
カワラサイコ	三重県では、多度町、関町、伊賀市、松阪市、明和町、鳥羽市で記録がある。日当たりのよい川原や砂地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
マメナシ	三重県では、桑名市、いなべ市、東員町、四日市市、鈴鹿市、松阪市、多気町、明和町、玉城町、伊勢市、鳥羽市に分布する。里山や溜池周辺等の湧水のある場所に自生する落葉性の小高木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ビロードイチゴ	三重県では、いなべ市、菰野町、多気町で記録がある。暖温帯の山地の路傍や荒地に生育する落葉低木である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る草地等が存在する。
シモツケ	三重県では、菰野、松阪、熊野等で記録がある。(A) 山野に生育する落葉低木である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
イヌブナ	三重県では、いなべ市、菰野町、鈴鹿市、伊賀市、名張市、津市美杉町等で記録がある。暖帯上部の山地に生育する落葉高木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(16) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
シリブカガシ	三重県では、桑名市、伊賀市、大台町、熊野市等で記録がある。現在は社寺林等でのみ僅かな個体がみられる常緑高木である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
サクラバハシノキ	三重県では、北勢および南勢地域、伊賀市で記録がある。丘陵地の湿地周辺に生育する落葉高木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ゴキヅル	三重県では、桑名市、四日市市、伊賀市、津市、明和町で記録がある。水辺に生育するつる性の一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る草地等が存在する。
シラヒゲソウ	三重県では、大台町で記録がある。深山の溪流岩上等山の陰湿地に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
キヌヤナギ	三重県では、桑名市、菰野町、伊賀市、熊野市で記録がある。水辺等水湿地に生育する落葉小高木である。(A)	△	△	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の栽培逸出個体の生育場所となり得る環境が存在する。
ミツバフウロ	三重県では、鈴鹿山脈の北部で記録がある。(A) 山地や丘陵地の草地に生育する多年草である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヒメミソハギ	三重県では、桑名市、四日市市、伊賀市、津市、松阪市、多気町、熊野市、紀宝町で記録がある。水田や湿地に生育する一年草である (A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ミズマツバ	三重県では、いなべ市、四日市市、亀山市、伊賀市、津市、松阪市、尾鷲市、紀宝町で記録がある。稲刈り後の水田や湿性水田等でみられる小さな一年草である (A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
ヤマガラシ	三重県では、分布する情報がない。山地の草地に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
カンラン	三重県では、中勢、南勢、紀州で記録がある。乾いた林床に生育する常緑のランである。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ミズタガラシ	三重県では、桑名市、菰野町、津市、伊賀市、名張市、松阪市、明和町、伊勢市、南伊勢町で記録がある。水湿地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
マルバタネツケバナ	三重県では、多度町で記録がある。河口付近の水辺で潮の干満により水位変化の影響があるような河川敷に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(17) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
ナガバノヤノネグサ	三重県では、北勢地域で記録がある。山林下の陰地に生育する一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ヤナギヌカゴ	三重県では、桑名市長島町で記録がある。湿地や水辺に生育する一年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ナガバノウナギツカミ	三重県では、多度町、松阪市、紀北町等で記録がある。河川の氾濫原や溜池に生育する一年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヌカボタデ	三重県では、北勢、紀州地域で記録がある。水湿地に生育する一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ムジナモ	三重県では、長島町で記録がある。無毛で根を持たない沈水性の水草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
イシモチソウ	三重県では、北勢、中勢、伊賀、南勢、紀州で記録がある。丘陵地の湿地やその周辺のやせ地に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
モウセンゴケ	三重県では、北勢、中勢、南勢、伊賀の広い範囲で、紀州地域は尾鷲市と熊野市で記録がある。(A) 日当たりのよい酸性湿地に生育する多年草である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在しない。
コモウセンゴケ	三重県では、桑名市、亀山市、鈴鹿市、伊賀市、津市、松阪市、明和町、熊野市、紀宝町で記録がある。日当たりのよい湿地や土手に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
トウカイコモウセンゴケ	三重県では、いなべ市、桑名市、四日市市、鈴鹿市、亀山市、伊賀市、名張市、松阪市、明和町、志摩市、熊野市で記録がある。日当たりのよい湿地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
ヤマハコベ	三重県では、分布する情報がない。山地の草地に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヤナギイノコヅチ	三重県では、県内全域で記録がある。山地の木陰に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
イソホウキギ	三重県では、津市、松阪市、伊勢市、熊野市で記録がある。塩性湿地に生育する一年生草本である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(18) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
カラタチバナ	三重県では、いなべ市、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、伊賀市、大紀町、明和町、尾鷲市で記録がある。疎林内に生育する小低木である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る樹林等が存在する。
オオツルコウジ	三重県では、尾鷲市、紀伊長島町で記録がある。(A) 常緑の小低木である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
クサレダマ	三重県では、北勢、伊賀、南勢地域で記録がある。(A)山中の湿地に生育する多年草である(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
クリンソウ	三重県では、中勢と伊賀地域で記録がある。森林に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
イワザクラ	三重県では、いなべ市、菰野町、津市、松阪市、大台町で記録がある。山地の岩壁に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
クロミノニシゴリ	三重県では、北勢、伊賀、中勢及び南勢の北部地域で記録がある。湿地近辺に生育する落葉低木である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
イワナシ	三重県では、桑名市、いなべ市、菰野町、四日市市、津市、伊賀市、名張市、伊勢市で記録がある。山地林縁の斜面や崖に生育する常緑の小低木である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
マルバノイチヤクソウ	三重県では、藤原岳、伊賀市、名張市赤目峡、松阪市白猪山で標本記録がある。(A) 深山の林下や稀に適湿の草原に生育する多年草である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ウンゼンツツジ	三重県では、紀宝町で記録がある。日当たりの良い林縁や岩場に生育する半常緑低木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
フジツツジ	三重県では、熊野市紀和町で記録がある。(A) 太平洋沿いの低地から山地の疎林内に生育する半常緑低木である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
シロバナイナモリソウ	三重県では、紀勢で絶滅の可能性が高いとの文献情報がある。(A) 太平洋側の山地の日陰に生育する多年草である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
コケリンドウ	桑名市、四日市市、菰野町、伊勢市、名張市で記録がある。日当たりの良い原野に生育する越年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(19) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
ハルリンドウ	三重県では、北勢、中勢および伊賀地域で記録がある。丘陵地の日当たりのよい、やや湿り気のあるところに生育する二年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
イヌセンブリ	三重県では、北勢から紀州地域までの各地で記録がある。山野の湿地に生育する越年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
ヒメナエ	三重県では、伊賀市の河岸で記録がある。野原の湿地に生育する小形の一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
アイナエ	三重県では、桑名市、伊賀市、伊勢市、熊野市等で記録がある。野原や道端に生育する小型の一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
コイケマ	三重県では、桑名市、亀山市、紀北町で記録がある。林縁や疎林内に生育するつる性の植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
タチカモメヅル	三重県では、いなべ市、桑名市、四日市市、鈴鹿市、伊賀市、名張市、津市、松阪市、多気町、玉城町で記録がある。湿気のある草地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ツルガシワ	三重県では、中部、北勢地域の鈴鹿山系で記録がある。山の木陰に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
スズサイコ	三重県では、伊賀地域での確認が多く、桑名市、四日市市、亀山市、津市、松阪市、多気町、伊勢市、鳥羽市、志摩市で記録がある。草地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
コバノカモメヅル	三重県では、桑名市、いなべ市、四日市市、菰野町、亀山市、津市、南伊勢町、大台町で記録がある。山野に生育する蔓性の多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ホタルカズラ	三重県では、桑名市、伊賀市、津市、鳥羽市で記録がある。日当たりのよい草地や疎林内に生育するの多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ハシドイ	三重県では、いなべ市(藤原岳、御池岳)、菰野町(御在所岳、竜ヶ岳)、大台町で記録がある。山地に生育する落葉小高木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(20) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
シンラン	三重県では、紀州で記録がある。スギ、カシ等の混生林の中の常緑広葉樹に着生する小低木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
マルバノサワトウガラシ	三重県では、いなべ市、松阪市、南伊勢町、熊野市、御浜町、紀宝町で記録がある。湿地や水田に生育する軟弱な一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
オオアブノメ	三重県では、桑名市、名張市、熊野市で記録がある。湿地や水田畦沿いに生育する一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
シソクサ	三重県では、中勢と伊賀で稀にみられ、北勢と紀勢では少ない。(C) 富栄養湿地や水田に生育する一年草である。(D)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
トウオオバコ	三重県では、四日市市、伊賀市、松阪市、志摩市で記録がある。(A) 海近くの湿った草地に生育する多年草である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
クワガタソウ	三重県では、桑名市、多度町、菰野町、伊賀市、津市、松阪市の比較的標高の高い温帯域で記録がある。山地林下に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
イヌノフグリ	三重県では、北勢、中勢、南勢および伊賀地域で記録がある。道ばたや石垣の間等に生育する二年草である。	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
カワヂシャ	三重県では、北勢、中勢、伊賀で稀にみられる。富栄養湿地や水田に生育する。(C)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
ゴマノハグサ	三重県では、北勢、紀勢、伊賀で記録がある。(C) やや湿った草原に生育する多年草である。(B)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
オウギカズラ	三重県では、北勢から南勢地域の山地で記録がある。山の木陰に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
コムラサキ	三重県では、広い範囲で点々と記録がある。(A) 草原や湿地の近く等に生育する落葉低木である。(D)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
マネキグサ	三重県では、北勢および中勢地域で記録がある。山の木陰に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

表 6.7.1-2(21) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
ヒメハッカ	三重県では、北勢と紀勢に分布する情報はあるが、標本の裏付けがない。富栄養湿地に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ミゾコウジュ	三重県では、桑名市、いなべ市、四日市市、鈴鹿市、松阪市で記録がある。低湿地、河川の氾濫原、溜池の縁等に生育する越年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
シソバツナミ	林縁や落葉樹林下に生育する多年草である。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヤマタツナミソウ	三重県では、いなべ市、伊賀市、名張市、松阪市、大紀町、大台町で記録がある。山地の林内に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
スズメノハコベ	三重県では、いなべ市、津市、松阪市、多気町、尾鷲市、紀宝町で記録がある。湿地に生育する微小な一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る湿地等が存在する。
ゴマクサ	三重県では、いなべ市、鈴鹿市、伊賀市で記録がある。日当たりの良い湿地に生育する一年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
クチナシグサ	三重県では、津市、松阪市、伊賀市、多気町、伊勢市で記録がある。日の当たる丘陵・土手の草地に生育する半寄生の越年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
コシオガマ	三重県では、名張市、津市で記録がある。日当たりのよい草地や路傍に生育する半寄生の一年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ヒキヨモギ	三重県では、いなべ市、伊賀市、布引山地、鳥羽市、熊野市等で記録がある。日当たりの良い草地に生育する半寄生の一年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
イイタカムシトリスミレ	三重県では、松阪市で記録がある。我が国の唯一の自生地である。垂直に近い岩壁に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
フサタヌキモ	三重県では、桑名市、鈴鹿市、伊賀市、伊勢市で記録がある。平野部の池沼に生育する浮遊性の食虫植物である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水域が存在しない。
タヌキモ	三重県では、伊賀で記録があるが、絶滅した可能性が高い。水域に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水域が存在しない。

表 6.7.1-2(22) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
ヒメミミカキグサ	三重県では、四日市市、鈴鹿市で記録がある。絶滅したものと思われる。泥湿地に生育する小さな多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ムラサキミミカキグサ	三重県では、いなべ市、桑名市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、名張市、伊賀市、明和町で記録がある。(A) 貧栄養湿地に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
クマツヅラ	三重県では、いなべ市、鈴鹿市、大紀町で記録がある。山野の路傍に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ソバナ	三重県では、石灰質山地のほぼ全域で記録がある。山地林縁や斜面に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
キキョウ	三重県では、桑名市、鈴鹿市、亀山市、伊賀市、名張市、津市、松阪市、明和町、鳥羽市で記録がある。日当たりのよい草地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ガガブタ	三重県では、桑名市、四日市市、鈴鹿市、伊賀市、津市、松阪市、多気町、玉城町で記録がある。池に生育する多年草の水草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る水域が存在する。
ノコギリソウ	三重県では、桑名市、菰野町、伊賀市、名張市、度会町で記録があるが、絶滅した可能性が高い。山地の草原に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
エンシュウハグマ	三重県では、桑名市、いなべ市、菰野町で記録がある。山地の木陰に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
カララハハコ	三重県では、いなべ市、桑名市、四日市市、松阪市、伊賀市で記録がある。川原の通常は礫地等に群生する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ヒメシオン	三重県では、桑名市長島町、四日市市、名張市で記録があるが、現存しているのは桑名市のみである。湿草原や小川の縁等に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ヤマジノギク	三重県では、伊賀市、名張市、津市、亀山市、志摩市、大紀町で記録がある。山地の明るい草地に生育する二年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。



表 6.7.1-2(23) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種 名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
サワシロギク	三重県では、いなべ市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、伊勢市で記録がある。丘陵地や溜池の周囲、日当たりの良い湿地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
オケラ	三重県では、いなべ市、桑名市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、亀山市、津市、伊賀市、松阪市、多気町、大台町で記録がある。やや乾いた丘陵や里山に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ワタムキアザミ	三重県では、いなべ市、桑名市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、亀山市、伊賀市、大台町、大紀町で記録がある。山地や丘陵地の樹下、林縁に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
フジバカマ	三重県では、桑名市で記録があるが絶滅した可能性が高い。河岸の草原等に稀に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
オグルマ	三重県では、いなべ市、桑名市、名張市、伊賀市、名張市、津市、松阪市、多気町、度会町で記録がある。やや湿った草地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ホソバオグルマ	三重県では、桑名市、名張市、四日市市で記録がある。人里近くの湿地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
カセンソウ	三重県では、いなべ市藤原岳、伊賀市笠取山で記録がある。日当たりが良くやや湿潤な草地環境に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ノニガナ	三重県では、北勢、伊賀、伊勢等で記録がある。(A) 田のあぜや土手、たんぼ道に生育する越年草である。(D)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
カワラニガナ	本州（中部地方以北）に分布する。川原の礫地に生育する多年草である。(D)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
オカオグルマ	三重県では、北勢、中勢、伊賀、南勢および紀州地域で記録がある。日当たりのよい乾いた草原に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
サワオグルマ	三重県では、いなべ市藤原町、津市、伊賀市で記録がある。日当たりの良い山間の湿地に生育する多年草である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。

表 6.7.1-2(24) 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な維管束植物の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
オナモミ	三重県では、津市、伊賀市、桑名市で記録がある。道端等に生育する一年草である。(B)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ミシマサイコ	三重県では、度会郡能見坂で記録がある。日当たりの良い草地に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ドクゼリ	三重県では、桑名市、伊賀市、志摩市で記録がある。湿原に生育する多年草である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ハナウド	三重県では、伊賀市、桑名市、鳥羽市、名張市で記録がある。川岸や日陰の土手等に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
カノツメソウ	三重県では、北勢と中勢で記録がある。稀にみられ、二次林や植林に生育する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
カンボク	三重県では、鈴鹿山脈北部、伊賀地域、台高山脈で記録がある。ブナ帯の構成要素の落葉低木である。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
コウグイスカグラ	三重県では、いなべ市藤原岳で文献記録がある。(A) 本州、四国の標高 400~1400mの山地に点在する落葉低木である。石灰岩地にもみられる。(D)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。

注1：生育の可能性…内＝準対象事業実施区域における生育の可能性。外＝準対象事業実施区域の周辺における生育の可能性。○＝生育の可能性がある。△＝栽培逸出個体が確認される可能性があるが、野生個体が確認される可能性は低い。×＝生育の可能性が極めて低い又ははない。

注2：種名及び配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和5年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省、令和5年）に準拠した。

注3：各種の生態的特性の出典は次のとおり。

- A：「三重県レッドデータブック 2015～三重県の絶滅のおそれのある野生生物～」(三重県、平成27年)
- B：「レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－8 植物1」(環境省、平成26年)
- C：「改訂・近畿地方の保護上重要な植物-レッドデータブック近畿 2001-」(レッドデータブック近畿研究会、平成13年)
- D：「改訂新版 日本の野生植物 1～5」(平凡社、平成27年)

表 6.7.1-3 準対象事業実施区域及びその周辺における重要な蘚苔類の生育可能性

種名	生態的特性	生育の可能性		判断根拠
		内	外	
オオミズゴケ	三重県では、伊勢平野、南勢を除いた各地で記録がある。山地の湿原や湿地帯の土上に生育する。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
チャボスギゴケ	三重県では、桑名市、大台町、大紀町、紀北町、尾鷲市で記録がある。林道の法面や崖面等に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
ホソベリホウオウゴケ	三重県では、いなべ市、桑名市、津市美杉町、松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、御浜町で記録がある。湿土上に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
フジノマンネングサ	三重県では伊賀市で記録がある。(A) 林下の腐蝕土上や腐木上に群生する。(C)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
カワゴケ	北海道と本州に分布する。流水中や池等の底の岩上や倒木上等生育する。(B)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
モロハヒラゴケ	三重県では、桑名市、いなべ市、上野市、松阪市飯高町、伊勢市、志摩市、大紀町、紀北町で記録がある。低地に分布し、樹幹上に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
シマフデノホゴケ	九州、琉球列島に分布する。熱帯、亜熱帯地方の森林内に生育し、溪流近くの樹幹や腐木の上に黄緑色の光沢のあるマットを作る。(B)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
マエバラムチゴケ	三重県では、熊野灘に沿った南部に記録がある。樹幹や岩上に生育する。(A)	×	×	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在しない。
カビゴケ	三重県では、名張市から紀宝町に至る各地で記録がある。谷間の渓流域の生葉上や樹枝、その他種々の基物上に生育する。(A)	×	○	準対象事業実施区域に本種の生育場所となり得る環境はないがその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
ウキゴケ	三重県では、広い範囲で記録がある。溜め池、水田、用水路等に生育する。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。
イチョウウキゴケ	三重県では、広い範囲で記録がある。水田地帯に生育する浮遊性の種である。(A)	○	○	準対象事業実施区域及びその周辺には本種の生育場所となり得る環境が存在する。

注1：生育の可能性…内＝準対象事業実施区域における生育の可能性。外＝準対象事業実施区域の周辺における生育の可能性。○＝生育の可能性がある。×＝生育の可能性が極めて低い又はない。

注2：各種の生態的特性の出典は次のとおり。

A：「三重県レッドデータブック 2015～三重県の絶滅のおそれのある野生生物～」(三重県、平成27年)

B：「レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—9 植物Ⅱ」(環境省、平成26年)

C：「日本の野生植物 コケ」(平凡社、平成13年)

## ② 重要な群落の分布の状況

準対象事業実施想定区域及びその周辺における重要な群落の分布の状況として、「3.1.6 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (2) 陸生植物の生育、植生の状況」に記載したとおり、重要な群落の分布は確認されなかった。

### ③ 現地調査の結果

現地調査を実施した結果、前掲の表 3.1.6-13 に示した選定基準に該当する重要な種として、表 6.7.1-4 に示すとおり、維管束植物ではヒメミズワラビ、ミズギボウシ、ミズマツバ、ヤナギイノコズチ、シソクサ、コムラサキ、オケラの 7 種が確認された。なお、蘚苔類では前掲の選定基準に該当する重要な種は確認されなかった。

確認された維管束植物の重要な種の概要は表 6.7.1-5 に、確認地点は図 6.7.1-1 に示すとおりである。

表 6.7.1-4 現地調査によって確認された重要な種（維管束植物）

No.	科名	和名	重要な種選定基準						確認地点	
			I	II	III	IV	V	VI	内	外
1	イノモトソウ	ヒメミズワラビ				準				●
2	クサスギカズラ	ミズギボウシ				C		NT	●	●
3	ミソハギ	ミズマツバ			VU	C		NT		●
4	ヒユ	ヤナギイノコズチ						NT	●	●
5	オオバコ	シソクサ				C				●
6	シソ	コムラサキ				C		VU		●
7	キク	オケラ				C		VU		●
—	7 科	7 種	0 種	0 種	1 種	6 種	0 種	5 種	2 種	7 種

注：種名及び配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 5 年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省、令和 5 年）に準拠した。

表 6.7.1-5(1) 現地調査によって確認された重要な種（維管束植物）の概要

種名	生態特性	現地写真	確認状況
ヒメミズワラビ	三重県では、北勢と中勢で稀にみられ、紀勢では少ない。水域や富栄養湿地、水田等に生育する。(B)		準対象事業実施区域外の 2 か所で計 300 個体以上が確認された。
ミズギボウシ	三重県では、いなべ市、四日市市、菰野町、伊賀市、名張市、津市、松阪市、多気町、熊野市で記録がある。溝の縁や山際の湿地等で雑草に混じって生育する多年草である。(A)		準対象事業実施区域内の 1 か所で 4 個体が、準対象事業実施区域外の 2 か所で計 5 個体が確認された。

表 6.7.1-5(2) 現地調査によって確認された重要な種（維管束植物）の概要

種名	生態特性	現地写真	確認状況
ミズマツバ	三重県では、いなべ市、四日市市、亀山市、伊賀市、津市、松阪市、尾鷲市、紀宝町で記録がある。稲刈り後の水田や湿性水田等でみられる小さな一年草である。(A)		準対象事業実施区域外の2か所で計80個体以上が確認された。
ヤナギイノコズチ	三重県では、県内全域で記録がある。山地の木陰に生育する多年草である。(A)		準対象事業実施区域内の3か所で計27個体が、準対象事業実施区域外の8か所で計424個体以上が確認された。
シソクサ	三重県では、中勢と伊賀で稀にみられ、北勢と紀勢では少ない。(B) 富栄養湿地や水田に生育する一年草である。(C)		準対象事業実施区域外の1か所で20個体以上が確認された。
コムラサキ	三重県では、広い範囲で点々と記録がある。(A) 草原や湿地の近く等に生育する落葉低木である。(C)		準対象事業実施区域外の1か所で1個体が確認された。
オケラ	三重県では、いなべ市、桑名市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、亀山市、津市、伊賀市、松阪市、多気町、大台町で記録がある。やや乾いた丘陵や里山に生育する多年草である。(A)		準対象事業実施区域外の1か所で6個体が確認された。

注：生態特性は以下の文献を参考にした。

- A：「三重県レッドデータブック 2015～三重県の絶滅のおそれのある野生生物～」(三重県、平成27年)
- B：「改訂・近畿地方の保護上重要な植物-レッドデータブック近畿 2001-」(レッドデータブック近畿研究会、平成13年)
- C：「改訂新版 日本の野生植物 1～5」(平凡社、平成27年)

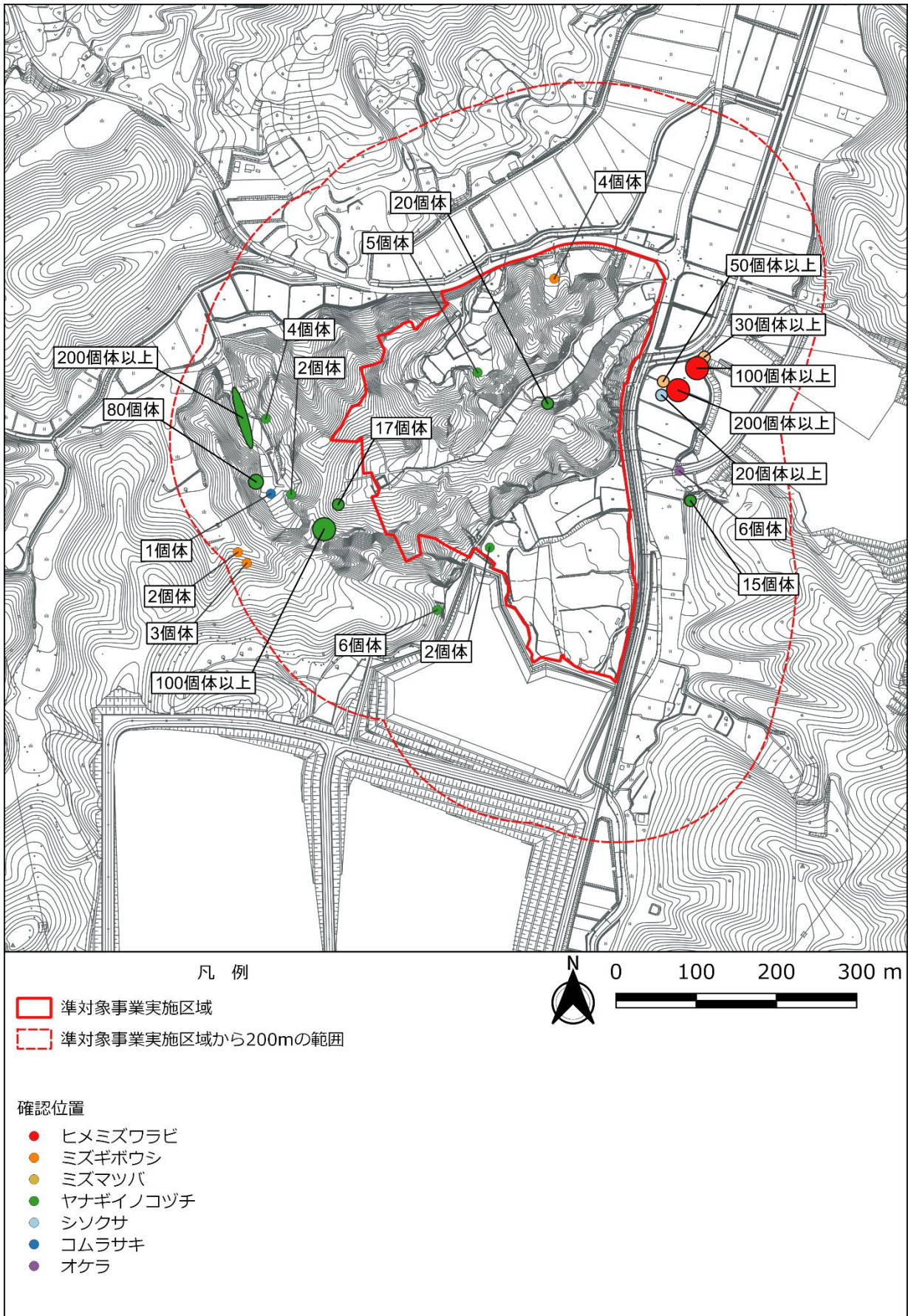


図 6.7.1-1 重要な種の確認地点（植物）

## 6.7.2 予 測

### (1) 予測項目

予測項目は以下のとおりとした。

#### 【工事の実施】

「樹木の伐採・処理」、「土地の造成」による重要な種への影響。

#### 【施設の供用】

「工作物の供用・稼働」による重要な種への影響。

### (2) 予測手法

既存資料等の収集・整理により得られた情報をもとに、準対象事業実施区域及びその周辺に「生育の可能性がある」と判断された重要な種並びに現地調査において確認された重要な種を対象とし、各種の分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた定性的な解析により環境影響を予測した。

なお、予測の前提となる事業の実施によって生じる具体的な影響として、表 6.7.2-1 に示す内容を想定した。

表 6.7.2-1 想定される影響の内容

時 期	影響の種類	影響要因	想定される影響	内 容
工事の 実施	直接的 影響	樹木の伐採・ 処理／土地の 造成	生育環境等の消失	植生及び地形の改変により生育環境 等が消失し、生育個体数の減少が想定 される。
	間接的 影響	土地の造成	造成等工事に伴う濁 水による水質の変化	降雨時の濁水の流出により、下流水域 の生育環境の悪化が想定される。
施設の 供用	間接的 影響	工 作 物 の 供 用・稼働	施設排水に伴う周辺 水域の水質悪化	施設排水に伴う水質変化により、下流 水域の生育環境の悪化が想定される。

### (3) 予測地域

予測地域は、準対象事業実施区域及びその周辺とした。

### (4) 予測対象時期

#### 【工事の実施】

土地の造成等、工事の実施による重要な種への影響が最大となる時期とした。

#### 【施設の供用】

各誘致企業の事業活動が定常状態となった時期とした。



## (5) 予測結果

### ① 重要な種への影響

「6.7.1 調査」において、文献調査で準対象事業実施区域及びその周辺に「生育の可能性がある」と判断された重要な種、並びに現地調査において生育が確認された重要な種について、事業の実施による影響を予測した。

予測結果は、維管束植物がそれぞれ表 6.7.2-2 に、蘚苔類がそれぞれ表 6.7.2-3 に示すとおりである。

維管束植物では、予測対象とした 92 種のうち 5 種が、工事の実施や施設の供用により影響を受けると予測された。また、蘚苔類は影響を受けると予測された種はなかった。

表 6.7.2-2 (1) 重要な種（維管束植物）への影響の予測結果（工事の実施）

種名	生育の可能性		生育確認		影響の概要		
	内	外	内	外	直接的影響	間接的影響	
					樹木の伐採・処理 ／土地の造成	土地の造成	
コハナヤスリ マツバラシ オオトリゲモ ササユリ エビネ ナツエビネ ギンラン キンラン カキラン アキザキヤツシロラン クロヤツシロラン ウスギムヨウラン ヒメフタバラン アオフタバラン トンボソウ クモラン ノカンゾウ ナガエミクリ コガマ ホシクサ クロホシクサ コウキヤガラ ヤガミスゲ シロガヤツリ ヒメコヌカグサ ナルコビエ マツモ タコノアシ タヌキマメ ツルフジバカマ アリマグミ カワラサイコ ビロードイチゴ シリブカガシ ゴキヅル ヒメミソハギ	ミズタガラシ ナガバノヤノネグサ ヌカボタデ コモウセンゴケ トウカイコモウセンゴケ カラタチバナ クロミノニシゴリ イワナシ ハルリンドウ イヌセンブリ ヒメナエ アイナエ タチカモメヅル スズサイコ コバノカモメヅル マルバノサワトウガラシ オオアブノメ イヌノフグリ カワヂシャ ミゾコウジュ スズメノハコベ コシオガマ クマツヅラ キキョウ ガガブタ カワラハハコ ヤマジノギク サワシロギク ワタムキアザミ オグルマ ホソバオグルマ ノニガナ カワラニガナ オカオグルマ サワオグルマ					樹木の伐採又は土地の造成に伴う生育環境の改変が想定されるが、準対象事業実施区域内では現地調査で生育を確認していないことから、著しい影響はないと予測する。	—
デンジソウ ホザキノフサモ		×	○			—	準対象事業実施区域及びその周辺では現地調査で生育を確認していないことから、著しい影響はないと予測する。
ナンカクラン イヌカタヒバ フウラン ニラ キヌヤナギ		△	△				

表 6.7.2-2 (2) 重要な種（維管束植物）への影響の予測結果（工事の実施）

種名	生育の可能性		生育確認		影響の概要	
	内	外	内	外	直接的影響	間接的影響
					樹木の伐採・処理／ 土地の造成	土地の造成
ミズギボウシ ヤナギイノコヅチ	○	○	●	●	樹木の伐採又は土地の造成に伴う生育環境の改変が想定され、生育個体は直接的な影響を受けるおそれがあると予測する。	—
コムラサキ オケラ	○	○		●	樹木の伐採又は土地の造成に伴う生育環境の改変が想定されるが、準対象事業実施区域内では現地調査で生育を確認していないことから、著しい影響はないと予測する。	
ヒメミズワラビ ミズマツバ シソクサ	○	○		●		

注1：生育の可能性…内＝準対象事業実施区域における生育の可能性。外＝準対象事業実施区域の周辺における生育の可能性。○＝生育の可能性がある。△＝栽培逸出個体が確認される可能性があるが、野生個体が確認される可能性は低い。×＝生育の可能性が極めて低いまたはない。

注2：生育確認…内＝準対象事業実施区域における生育確認。外＝準対象事業実施区域の周辺における生育確認。  
●＝生育を確認した。

注3：「影響の概要」欄において「—」としたものは、対象種の生態的特性から当該影響要因を受ける可能性が極めて低い、又はないと考えられることから、予測対象外としたことを示す。

表 6.7.2-2 (3) 重要な種（維管束植物）への影響の予測結果（施設の供用）

種名	生育の可能性		生育確認		影響の概要
	内	外	内	外	間接的影響
					土地の造成
コハナヤスリ					-
ミズタガラシ					
マツバラン					
オオトリゲモ					
ササユリ					
エビネ					
ナツエビネ					
ギンラン					
キンラン					
カキラン					
アキザキヤツシロラン					
クロヤツシロラン					
ウスギムヨウラン					
ヒメフタバラン					
アオフタバラン					
トンボソウ					
クモラン					
ノカンゾウ					
ナガエミクリ	○	○			
コガマ					
ホシクサ					
クロホシクサ					
コウキヤガラ					
ヤガミスゲ					
シロガヤツリ					
ヒメコヌカグサ					
ナルコビエ					
マツモ					
タコノアシ					
タヌキマメ					
ツルフジバカマ					
アリマグミ					
カワラサイコ					
ビロードイチゴ					
シリブカガシ					
ゴキヅル					
ヒメミソハギ					
デンジソウ	×	○			
ホザキノフサモ					
ナンカクラン					
イヌカタヒバ					
フウラン	△	△			
ニラ					
キヌヤナギ					

表 6.7.2-2 (4) 重要な種（維管束植物）への影響の予測結果（施設の供用）

種名	生育の可能性		生育確認		影響の概要	
	内	外	内	外	間接的影響	
					土地の造成	
ミズギボウシ ヤナギイノコヅチ	○	○	●	●	—	
コムラサキ オケラ	○	○		●		
ヒメミズワラビ ミズマツバ シソクサ	○	○		●	準対象事業実施区域の周辺では現地調査で生育を確認しているが、施設供用後は周辺への新たな影響はないと予測する。	

注1：生育の可能性…内＝準対象事業実施区域における生育の可能性。外＝準対象事業実施区域の周辺における生育の可能性。○＝生育の可能性がある。△＝栽培逸出個体が確認される可能性があるが、野生個体が確認される可能性は低い。×＝生育の可能性が極めて低いまたはない。

注2：生育確認…内＝準対象事業実施区域における生育確認。外＝準対象事業実施区域の周辺における生育確認。●＝生育を確認した。

注3：「影響の概要」欄において「—」としたものは、対象種の生態的特性から当該影響要因を受ける可能性が極めて低い、又はないと考えられることから、予測対象外としたことを示す。

表 6.7.2-3 (1) 重要な種（蘚苔類）への影響の予測結果（工事の実施）

種名	生育の可能性		生育確認		影響の概要	
	内	外	内	外	直接的影響	間接的影響
					樹木の伐採・処理／ 土地の造成	土地の造成
オオミズゴケ	○	○			樹木の伐採又は土地の造成に伴う生育環境の改変が想定されるが、準対象事業実施区域内では現地調査で生育を確認していないことから、著しい影響はないと予測する。	—
カビゴケ	×	○				
ウキゴケ イチョウウキゴケ	○	○				土地の造成に伴う濁水の影響による生育環境の悪化が考えられるが、準対象事業実施区域及びその周辺では現地調査で生育を確認していないことから、著しい影響はないと予測する。

注1：生育の可能性…内＝準対象事業実施区域における生育の可能性。外＝準対象事業実施区域の周辺における生育の可能性。

○＝生育の可能性がある。×＝生育の可能性が極めて低いまたはない。

注2：「影響の概要」欄において「—」としたものは、対象種の生態的特性から当該影響要因を受ける可能性が極めて低い、又はないと考えられることから、予測対象外としたことを示す。

表 6.7.2-3 (2) 重要な種（蘚苔類）への影響の予測結果（施設の供用）

種名	生育の可能性		生育確認		影響の概要
	内	外	内	外	間接的影響
					土地の造成
オオミズゴケ ウキゴケ イチョウウキゴケ	○	○			—
カビゴケ	×	○			

注1：生育の可能性…内＝準対象事業実施区域における生育の可能性。外＝準対象事業実施区域の周辺における生育の可能性。

○＝生育の可能性がある。×＝生育の可能性が極めて低いまたはない。

注2：「影響の概要」欄において「—」としたものは、対象種の生態的特性から当該影響要因を受ける可能性が極めて低い、又はないと考えられることから、予測対象外としたことを示す。

### 6.7.3 環境保全措置

#### (1) 環境保全措置の検討

「6.7.2 予測」において、造成工事等の事業の実施により、影響があると予測した種を対象に、事業者により実行することが可能な範囲内で当該環境影響をできる限り回避又は低減するための措置、あるいは損なわれる環境の有する価値を代償するための措置について検討した。

環境保全措置案の検討結果は表 6.7.3-1 に示すとおりであり、有効かつ実効性があると見込まれる措置について今後の事業計画において採用することとする。

表 6.7.3-1(1) 環境保全措置の検討結果（工事の実施）

環境保全措置の検討対象	影響要因	環境保全措置案	環境保全措置の効果とその検証	実効性
【維管束植物】 ミズギボウシ ヤナギイノコヅチ	樹木の伐採・処理／ 土地の造成（直接的 影響）	生育環境の改変の回避	事業特性上、面的な改変が必要であり、各種の生育環境の全域又は一部を改変区域から除外することは困難である。	×
		生育環境の改変範囲の縮小		×
		生育個体等の移植	工事着手前に現地調査を行い、改変区域内で保全すべき種の生育が確認された場合には、必要に応じて適地への移植等の環境保全措置を講じることで、事業による影響を代償できる。	○
重要な種全般		工事関係者への環境配慮事項の周知	工事区域外への立ち入り、不要な改変の防止、工事中に発見される可能性のある重要な種やその取扱い等について、事前に周知または注意喚起することで、重要な種の生育環境及び生育個体への著しい影響を低減できる。	○

表 6.7.3-1(2) 環境保全措置の検討結果（施設の供用）

環境保全措置の 検討対象	影響要因	環境保全措置案	環境保全措置の効果と その検証	実 効 性
<p>【維管束植物】 ヒメミズワラビ ミズマツバ シソクサ</p>	<p>工作物の供用・稼働 (間接的影響)</p>	<p>生育環境への施設排水流入 の回避</p>	<p>施設排水は現況の流域を変 更せずに適切に排水する必 要があるため、排水経路を 変更する等による下流水域 への流入を避けることは困 難である。</p>	<p>×</p>
		<p>施設排水の水質管理の徹底</p>	<p>各誘致企業においては、施 設排水を排水基準以下に適 正に処理した後に決められ た水路に放流するとともに、 浄化槽施設の維持管理 を徹底することで、放流先 河川・水路等の水質への影 響を低減できる。</p>	<p>○</p>



## (2) 環境保全措置の検討結果の整理

環境保全措置の具体的な内容等について整理し、表 6.7.3-2～4 に示す。

表 6.7.3-2 環境保全措置の内容（工事の実施：維管束植物）

環境保全措置の対象	【維管束植物】 ミズギボウシ（湿性環境） ヤナギイノコヅチ（林縁部）	
実施する環境保全措置	生育個体等の移植	
環境保全措置の実施の内容	実施主体	アルファモール株式会社
	実施方法	工事着手前に準対象事業実施区域内で現地調査を行い、保全すべき種の生育が確認された場合は、必要に応じて適地（図 6.7.3-1 の移植候補地）への移植及び環境整備等の環境保全措置を検討する。
	実施時期	工事着手前
	実施地域	準対象事業実施区域内
環境保全措置の効果	重要な種の個体及び生育環境への直接的影響を代償できる。	
環境保全措置を講じた後の環境の状況の変化	環境の大きな改変を伴う措置ではない。	
環境保全措置の効果の不確実性の程度	同様の環境保全措置の実施例があり、不確実の程度は小さいと考えられる。	
環境保全措置の実施に伴い生じるおそれがある環境への影響	移植先環境の攪乱が想定されるが、適切な地点や個体数を検討して実施することで、影響は低減できると考えられる。	

表 6.7.3-3 環境保全措置の内容（工事の実施：陸生植物）

環境保全措置の対象	重要な種全般	
実施する環境保全措置	工事関係者への環境配慮事項の周知	
環境保全措置の実施の内容	実施主体	アルファモール株式会社
	実施方法	工事区域外への立ち入り、不要な改変の防止、工事中に発見される可能性のある重要な種やその取扱い等について、工事関係者に事前に周知または注意喚起する。
	実施時期	工事着手前～工事期間中
	実施地域	準対象事業実施区域内
環境保全措置の効果	重要な種の個体及び生育環境への直接的・間接的影響を低減できる。	
環境保全措置を講じた後の環境の状況の変化	環境の改変を伴う措置ではない。	
環境保全措置の効果の不確実性の程度	同様の環境保全措置の実施例があり、不確実の程度は小さいと考えられる。	
環境保全措置の実施に伴い生じるおそれがある環境への影響	環境の改変を伴う措置ではなく、新たな影響は生じない。	

表 6.7.3-4 環境保全措置の内容（施設の供用：維管束植物）

環境保全措置の対象	【維管束植物】ヒメミズワラビ、ミズマツバ、シソクサ	
実施する環境保全措置	施設排水の水質管理の徹底	
環境保全措置 の実施の内容	実施主体	各誘致企業
	実施方法	施設排水を排水基準以下に適正に処理した後に決められた水路に放流するとともに、浄化槽施設の維持管理を徹底する。
	実施時期	施設供用時
	実施地域	準対象事業実施区域内
環境保全措置の効果	放流先河川・水路等の生息環境への影響を低減できる。	
環境保全措置を講じた後の 環境の状況の変化	環境の改変を伴う措置ではない。	
環境保全措置の効果の 不確実性の程度	同様の環境保全措置の実施例があり、不確実の程度は小さいと考えられる。	
環境保全措置の実施に伴い 生じるおそれがある環境への 影響	環境の改変を伴う措置ではなく、新たな影響は生じない。	

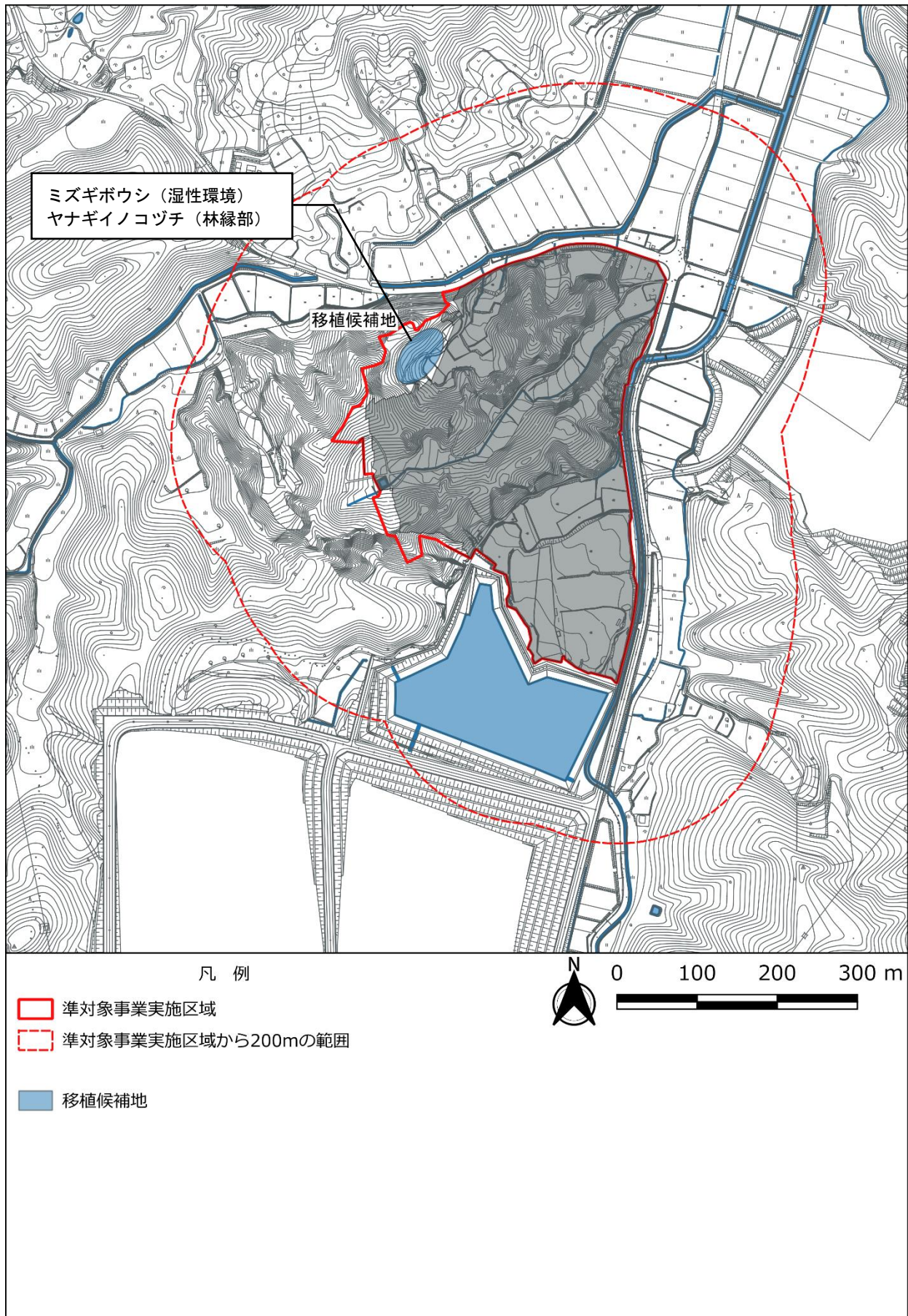


図 6.7.3-1 移植候補地

#### 6.7.4 評価

準対象事業実施区域及びその周辺に生育の可能性がある重要な種について、事業の実施（工事の実施及び施設の供用）による影響を予測した結果、維管束植物の5種は影響を受けるおそれがあると予測された。

そのため、事業者により実行することが可能な範囲内で当該環境影響をできる限り回避又は低減するための措置、あるいは損なわれる環境の有する価値を代償するための措置について検討し、有効かつ実効性があると見込まれる措置について今後の事業計画において採用することとした。

以上のことから、準対象事業実施区域及びその周辺に生育の可能性がある重要な種への影響が、事業者の実行可能な範囲でできる限り回避又は低減されていると評価する。